

デッドエンド (1937)

DEAD END

メディア 映画

ジャンル 青春 ドラマ

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 92分

初公開日 1939/06

公開情報 劇場公開

【解説】

NY、イーストリバー・サイドは、貧しい借家の建ち並ぶスラムだったが、船の往来に趣きを感じた金持ちが越して暮らすようになった。映画は高層マンションからパンダウンして、実に緻密に出来たスラムの様態を捉える。そのファースト・シーンが印象的だ。工場勤めのドリーナ（シドニー）は組合活動に熱心で、いつかこの環境を出ていきたいと思っている。幼なじみのデイヴ（マクリー）は苦学して建築科を出たがペンキ塗りなどして、チャンスに飢える。大人社会の濁りは悪童たちの遊びに集約される。豪邸の息子と彼らの溝が埋まるような安易な展開もなく、ドリーナの弟トミーは判事の弟を傷つけ、警官に追われる。デイヴの前には旧友“ベビー・フェイス”マーティン（ボギー）がジョンソンと名を変え顔も整形して現れる。お尋ね者の彼は老いた母と想い出の女フランシー（トレヴァー）に会いに危険を承知で、この古巣に舞い戻ったのだ。デイヴは友情から秘密を守ると誓うが、悪童たちをけしかけるような彼の態度に怒る。と、彼はデイヴを背中から刺し、川に落とす。が、デイヴは無事で、遂に旧友に銃を向ける。この貧乏アパートが密集したセットでの追走シーケンスが圧巻で、その他にもワイラーは、独特の縦の構図への執着を、アパート内の階段を描写する時などに発揮。マーティンが今や街娼となったフランシーに会い愕然とする所も、若きボギーの内面的演技が光る。S・キングスレーの原作を戯曲家のヘルマンが脚本化。“デッド・エンド・キッズ”として後に彼ら主演のシリーズを生む、不良少年たちが秀れて魅力的。

【クレジット】

監督	ウィリアム・ワイラー	William Wyler
製作	サミュエル・ゴールドウィン	Samuel Goldwyn
原作	シドニー・キングスレー	Sidney Kingsley
脚本	リリアン・ヘルマン	Lillian Hellman
撮影	グレッグ・トーランド	Gregg Toland
音楽	アルフレッド・ニューマン	Alfred Newman
出演	ジョエル・マクリー	Joel McCrea
	ハンフリー・ボガート	Humphrey Bogart
	シルヴィア・シドニー	Sylvia Sidney
	ウェンディ・バリー	Wendy Barrie
	クレア・トレヴァー	Claire Trevor
	アレン・ジェンキンス	Allen Jenkins
	マージョリー・メイン	Marjorie Main
	ウォード・ボンド	Ward Bond